

# 第1回研究科セミナー(トランスフォーマティブ知識経営研究領域)

## テーマ

### 「農業分野の技術経営の必要性とイノベーション事例」

講演者： 株式会社ぶった農産

代表取締役会長 佛田 利弘 氏

日時： 令和6年6月24日(月) 18:30~20:30

場所： JAIST 東京サテライト RoomA・B 及び  
オンライン

#### 講演要旨：

農業、特に稲作は古代からの伝統的な産業であり、その伝統ゆえにイノベーションが比較的起こりにくい分野であった。その中で、新しい高密度育苗田植技術「密苗」は、農業者の発想を農機具メーカーや公的研究機関を巻き込んで三位一体で実現・普及し、日本の稲作に大きな影響を与えた。本講演では、農業イノベーションの事例である「密苗」の開発・実証・普及の経緯を説明するとともに、技術経営およびイノベーションマネジメントの視点から成功に至った要因を考察する。また、農業分野の技術経営の必要性と普及についても述べる。

#### 講演者略歴：

1983年農水省農業者大学校卒業し、自家農業に従事。88年に経営を法人化。2024年より現職。国の農政審専門委員や行政刷新会議規制・制度改革分科会委員及びWG委員、農水省農林水産政策研究所客員研究員等を歴任。12年、北陸先大知識科学修士MOTコース(東京社会人コース)修了。12年密苗技術を考案し、アグリスターオナガ、ヤンマー、石川農試と共同開発した。これは、農水省の2017新技術に選定され、農水大臣賞を受賞。また、その功績により(公社)大日本農会(総裁：秋篠宮皇嗣殿下)が行う平成5年度(2023)農事功績者表彰事業において「農業技術開発功労者 名誉賞状」を受賞。現在、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF)に事務局をおく農業MOT-PLATFORMの活動で農業【MOT】人材の育成、イノベーションの量産とその社会化・公共化を実現すべく、農業分野におけるMOTの実装に取り組んでいる。